

■ 成績評価について

シラバスに記載されたとおり、課題レポート (40%)、授業での議論への参加の内容・質(60%)を総合して評価する。

課題レポートはプレゼンテーションの発表資料とする。それぞれの評価の観点を以下に示す。

1. 発表資料は引用文献を的確にとらえているか(15%)。
2. 発表資料は発表者の考察や議論を含み、議論を行う上で示唆を含んでいるか(25%)。
3. 議論では、発表を踏まえたうえで積極的に自分の意見を発現しているか(20%)。
4. 議論では、発表を踏まえたうえで積極的に他者の発現に耳を傾けているか(20%)。
5. 議論における発言は、発表を踏まえたうえで創造性・発展性を含み建設的なもので、履修者の学修に寄与するか(20%)。

評価の観点	AA	A	B	C	D(0点)
発表資料は引用文献を的確にとらえているか	引用文献を的確に捉え、わかりやすい。	引用文献のエッセンスが押さえられている。	引用文献で述べていることはよくわかる。	文章として不正確だが、言いたいことは伝わる。	日本語になっていない。
発表資料は(中略)示唆を含んでいるか	知的好奇心を刺激し、コメントを誘う。	興味深くまとめられている。	引用文献で書かれていることは伝わってくる。	議論には耐えられる。	臨床的な興味が記載されていない。
議論では、(中略)自分の意見を発言しているか。	積極的に発言するが、他者の発言も尊重できる。	議論を邪魔せず、積極的に発言している。	積極性が低い。	あまり発言がみられない(2~3言)。	発言がない。
議論では(中略)他者の発言に耳を傾けているか。		他者の発現にうなずきや相槌などで聴いていることを示している。	他者の発現を聴いていることはわかるが、消極的である。	発言者に耳を傾けているように見えない。	話を聞いていない。
議論に(中略)創造性・発展性を含み建設的(後略)	ほかのメンバーの発表に対して独自の視点から創造的な意見を表現し、視点や議論に新しい可能性をもたらした。	議論が刺激され、発展する発言がみられた。	興味深い発言がみられた。	創造性がみられない。	個性的ではあるものの、的外れであり議論が破綻した。